

3.2.12 基本的構造

道路構造は、盛土部、切土部、直壁部、トンネル部及び橋梁部・高架部を採用した。なお、計画路線が最大 10m の浸水想定区域を通過する箇所では、道路高を想定される水深より高く設定し、コンクリート構造物で路体の浸食を防ぐ構造とした。道路構造の種類を表 3.2.12 及び図 3.2.12-1 (P3-13) に、道路縦断図を図 3.2.12-2 (P3-14) に、標準断面図を図 3.2.12-3 (P3-15～15) に示す。

表 3.2.12 道路構造の種類、概ねの位置、延長

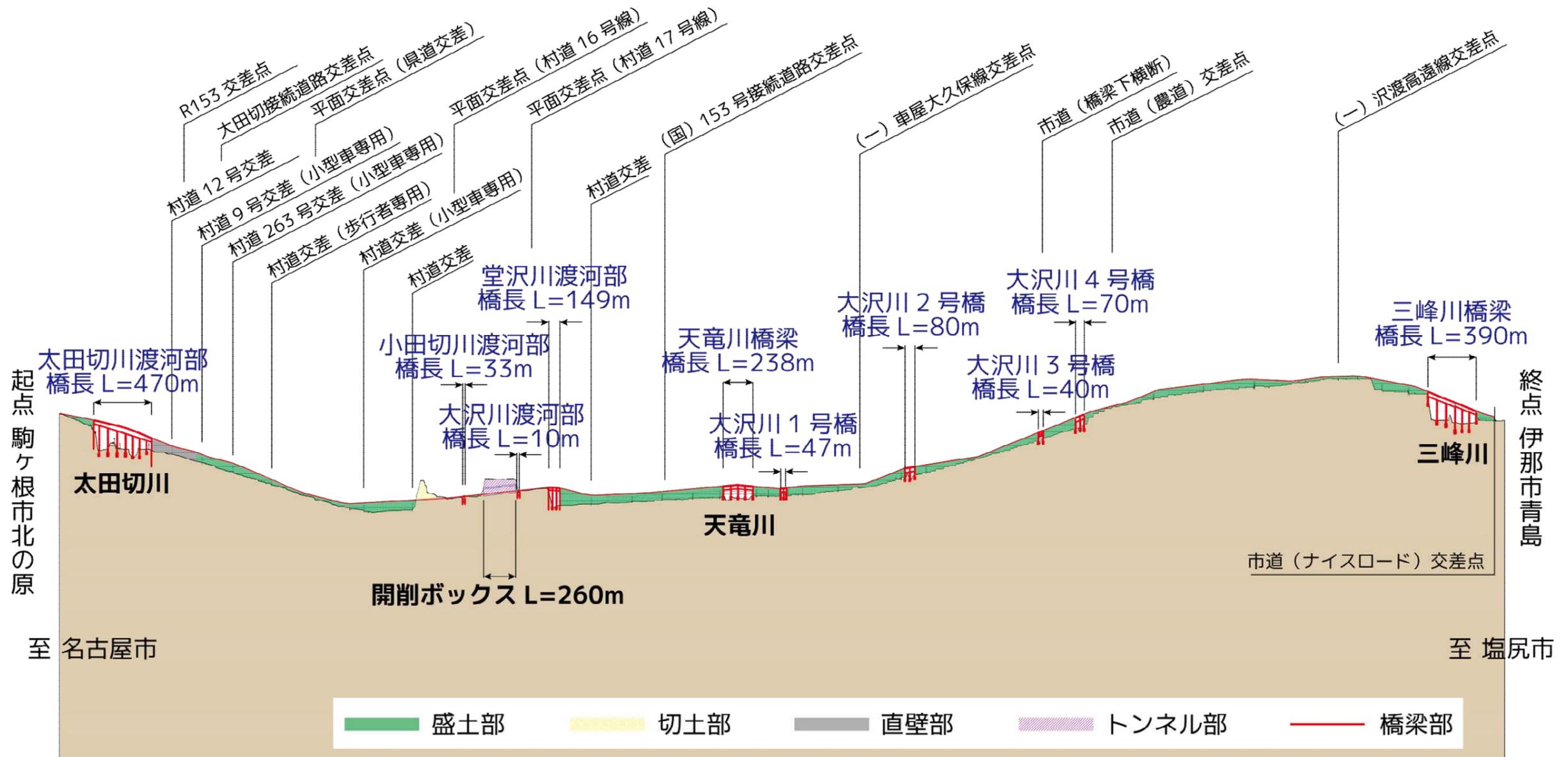
[単位：km]

道路構造の種類	概ねの位置		延長	
盛土部	①	駒ヶ根市北の原～駒ヶ根市赤穂	約 0.3	約 9.4
	②	宮田村大久保区	約 1.8	
	③	宮田村中越区 (仮称小田切川橋含む)	約 0.3	
	④	宮田村中越区	約 0.3	
	⑤	宮田村中越区～伊那市西春近	約 1.3	
	⑥	伊那市東春近 (仮称大沢川 11 号橋含む)	約 1.2	
	⑦	伊那市東春近～伊那市富県 (仮称大沢川 3 号橋含む)	約 1.3	
	⑧	伊那市東春近～伊那市東春近	約 2.8	
	⑨	伊那市美篤	約 0.1	
切土部	①	宮田村つつじが丘区～宮田村中越区	約 0.2	約 0.2
直壁部	①	宮田村大田切区～宮田村大久保区	約 0.4	約 0.4
トンネル部	①	宮田村中越区	約 0.2	約 0.2
橋梁部 ・ 高架部	①	駒ヶ根市赤穂～宮田村大田切区 (仮称新太田切川橋)	約 0.5	約 1.4
	②	宮田村中越区 (仮称堂沢川橋)	約 0.1	
	③	伊那市西春近～伊那市東春近 (仮称天竜川橋梁)	約 0.2	
	④	伊那市東春近 (仮称大沢川 2 号橋)	約 0.1	
	⑤	伊那市富県～伊那市東春近 (仮称大沢川 4 号橋)	約 0.1	
	⑥	伊那市東春近～伊那市美篤 (仮称三峰川高架橋)	約 0.4	

注 1：50m 未満の橋梁部・高架部は区分分けしていない。

注 2：各区分に含まれる橋梁名称は概ねの位置の括弧内に示した。

注 3：概ねの位置に示した地名は「長野県統合型地理情報システム」より引用した。



伊駒アルプスロード L=約 11.6 km W=28m

図 3.2.12-2 道路縦断面図